

2 9 年度 報 第 2

099-226-8268

# 平成

鹿児島県教頭会

〒892-0836 鹿児島市錦江町2-16 鹿児島県公立小・中学校 教頭会会館県教頭会事務局

099-822-5580

ント

ド、「敬

天愛人」 自身の

継ぎ、

管

平成二十九年度を振り返って

職場、 示し、

鹿児島市立玉江小学校

問題などの報道を通じて とになります。 う言葉が私の頭をよぎるこ な場面でこの「忖度」とい 得た言葉でした。以来、様々 私はこのとき初めて知り 言葉です。 よく耳にするようになった とおり、森友・加計学園 意味ですが、ご承知 気持ちを推し量るという に、「忖度」という言 今年の流行 れました。他 恥ずかしながら、 大賞の一つ 人の

すけれども、 学期末に行われる学校 価に関する職員会議。 分の意見や考えは押し 分本位で否定的 忖度できな

> 私の性格を少したことは、本来、 ます。 職員一人一人の意見や考え しょう。この職に就き、 は誰もがもっていることで 雰囲気に戻そうとした経験 ネートしながらよりよい 意見を忖度し、コーディ 職であるがゆえに、互いの なることもあります。 を を忖度する役割を与えられ 行き交い、気まずい空気に 忖 (逆の「忖度」が職員室を 度された建設的な発言。 第一義的に繰り出される 言。一方、 性格を少し変える けに なっ 子どものこと た気が 気の短い 教頭

さて、 昨 今、 様 々な企

> のではないでしょうか。 転換を図る時期にきている 時間をかけるなど、発想の を簡略化し、発問の研究に せん。例えば、学習指導案ければ改善の道はありま 方法を取捨選択していかな 最大限の効果を生み出すは、限られた時間の中で、 は終わりました。これから なりますが、管理職が当然 す。学校の実情等により異 づくりに努めたいも のように休日出勤する時代 このような中、十一月に

> > 司会や記録の

校務多様な 大会を開

曾孫にあたる西郷隆夫氏 郷土の偉人、西郷隆盛 れました。また、講演では、 か、それぞれの分科会ごと としていかに取り組むべき は、様々な教育課題に教頭 中学校教頭会研究大会で 開催された県公立小・ 話」と題して、 熱心な協議が繰り広げら 中教育と西郷隆盛の秘 れる西郷の人柄 原動力となっ

なっています。 学校現場においても 働き方改革が 職が率先して範を 勤めたくなる職場 職員が働きやす まずは、 叫ば の で Q でした。 わっていただいた鹿児島市皆 様、当 日 の 運 営 に 携 するに当たり、 い私にも、人柄や生き方が隆盛の実の顔も声も知らな を申し上げます。 中に提言発表をしていただ 容易に想像できる講演内容 多数寄せられました。西郷 しい講演であったとの声が 教頭会の皆様に心からお礼 いた皆様、 した。参加者からも素晴ら などを聞かせていただきま 生き方に実践されている話 今回の研究 志を受け

申し上げます。 校長先生方にも深くお ら応援してくださっている 先生方、いつも我々を心か ただきました県教育庁の れまで懇切丁寧にご指導い 最後になりましたが、こ







### 日置市立伊作小学校

相談してください。語ってくだ

本音ではないでしょうか。 みんな自信を持てないというのが になるのか、実際のところ、 のため、所属する集団社会のため した。自分の行いが、本当に他者 るのですね。その姿に感動しま 悩み、苦しみ、改善策を考えてい 言動について日々深く反省し、 を実践しているあなたも、自分の 何事にも積極的、責任ある取組

同じです。きれいな部分と汚い 混在しています。私の抱く感情も 真の人間理解です。 忘れてはいけないのです。それが ません。汚れた部分もあることを 決してきれいな部分だけではあり 素直に、注意深く観察すると、 があなたです。人間というものを が人間です。それが私です。それ 部分が混在しているのです。それ どろどろとした人間的な部分が 好悪の感情等、きれいな部分と 愛校心等々。打算や自己の利益: 難しい言葉、感情です。人間愛、 ように思われますが、実は、一番 使うのは簡単で、きれいな言葉の 人類愛、家族愛、親子愛、自然愛、 「愛」という文字がつく言葉は、

たのは、人間の感情がとても面白 私が道徳教育の研究を続けてき また不可解だと思ったから

姿を観る」姿勢が大切なのですね。 です。「声なき声を聴き、姿なき そして、多角的に観る視点が大切 だからこそ、人間の行動の一面 です。感情は、常に揺れています。 だけを見るのではなく、多面的に、 一人で悩まないでくださいね。

愛)で包んであげたいと思います。 を真の人間愛(アガペー:与える たいと切に願っています。あなた はずです。私もその一人になり ありませんよ。 忘れないでくださいね。一人では あなたを理解してくれる人がいる さい。あなたのそばに、必ず

ことだと思いますが、あなたには 「がんばれ」と。 あえて贈りたいのです。 と応援することは、とても失礼な がんばっている人に「がんばれ」

#### 窓から見 える 風 景

先日、 された。「三階の窓から広がる その向こうに開聞岳。絵のような 遠くに見える馬毛島、そして、 風景がすばらしかったよ。港と海、 された校長先生が次のような話を たちは幸せだ。」 こんな風景を毎日見ている子ども 他校の研究公開に参加

絵葉書のように見える風景」 を思い出した。「遠くに桜島が にお気に入りの風景があったこと これまで勤務した学校でそれぞれ そんな話を聞きながら、私も

> 「ビルに囲まれた市街地の学校の ものである。 り、やる気を引き出されたりした 風景」等。どの学校でも、それら 武家屋敷が広がる風景」「プール 校庭にある銀杏の木」「校門前に の風景を見ながら、心が癒された で必死に泳ぐ子どもたちのいる

がその子どもの心の原風景になる 子どもたちが窓から見ている風景 ら見える風景は重要である。今、 の時間を過ごしている学校の窓か はないだろうか。そう考えると、 街中の方が安心できるという人も できるという人もいる。また、 かも知れないのである。 いる。当たり前であるが、一人 人がいる。山里の方がリラックス 六年間(中学校は三年間)の多く 一人の心の原風景が関係するので 海を見ると心が落ち着くという

もらえる学校は幸せだと思うし、 言ってほしいと願う。そう言って そう言ってもらえる学校の風景を たこの学校の風景です。」と 子どもたちが「私の心の風景は、 並んでいるのが見える。将来、 向けて植えられた花の苗が整然と 広がっている風景が見える。春に もと、きれいな芝生の校庭が 作っていきたいものである。 小学校時代にいつも窓から見てい 現在、本校の窓からは、青空の

西之表市立伊関小学校

真

#### 私の 勧める 冊の本

ジリエンス」の鍛え方

著者名 出版社名

久世浩司

#### 鹿児島市立桜丘中学校 実業之日本社 塩屋 親徳

な場面で活用できると思ったの 進めていくうちに、自分に 感じた。何をどう鍛えればいいの を鍛えることが必要だと強く を体験した。研修を通して、これ メント」(怒りのコントロール) で、紹介したい。 しっくりと馴染む感じがし、様々 てくれたのが本書である。読み かと考えていたときに、妻が勧め からは自分をコントロールする力 校内研修で「アンガーマネジ

収める。一方、脆いエリートは、 生き残り、長いキャリアで成功を エリートは、精神的な打たれ強さ 二種類があり、たくましい ましいエリートと脆いエリートの ているように感じる。 後者に当てはまる生徒が増えてき で挫折する。」とある。近年は、 で生き残れず、キャリアのどこか 精神的な脆さを見せ、厳しい競争 実際に難しい仕事を任せると、 学歴や経歴は華々しく見えても、 があり、継続的に成果を上げ、 最初に、「エリートには、たく 内外の激しい競争にも

二種類のエリートの違いは学歴

したときに、適応する精神力と 心理学では「再起」や「再生」に の違いであり、レジリエンスとは、 体験から立ち直る力である。 述べている。簡単にいうと、 心理的プロセス」であると著者は 近いイメージで、「逆境や トラブル、強いストレスに直面 や能力ではなく、「レジリエンス\_

この力を身に付け、 ために必要な力であり、私自身、 現代では、レジリエンスを身に る度合い)を養うための四つの 事例、著名な人の実話など、共感 の技術が紹介されている。具体的 ステージや、各ステージで必要な 本書では、レジリエンスの三つの 陥った時に、そこから立ち直る 残った。ストレスや多忙感の強い 方法はすぐに取り組めそうで心に 「自分ならやればできる」と感じ 効力感」(目標や行動に対して 身に付けるために重要な「自己 しやすい。特に、レジリエンスを な方法論や身近に感じられる していきたい。 付けることは、困難な状況に レジリエンスを鍛えるための七つ その力を身に付けるために、 力強く前進

### 成功する No.2 失敗する No.2

出版社名 著者名 ISM Publishing Lab. ゴマブックス株式会社

指宿市立利永小学校 松山 正宜

され、教頭として任地へ赴いた。 平成二十九年一月に教頭に抜擢

本書である。本書である。本書である。

書籍である。 本書は、会社におりやすいかというと軽く手に取りやすいは手術、思考術などについて論じ、仕事術、思考術などについて論じ、けンバー2の逸話がは事が、思考術などにおいるどちられる。

理想とするナンバー2の姿は、姿に思いを馳せることができた。 大の逸話や戦国武将である豊臣氏の逸話や戦国武将である豊臣氏の逸話から目指すべきナンバー2のある本田宗一郎氏とホンダドーのある本田宗一郎氏とホンダドーのある本田宗一郎氏とは、適当でないのかもしれないが、は、適当でないのかもしれないが、は、適当でないのかもしれないが、は、適当でないのかもしれないが、は、適当でないのかもしれないが、は、適当でないのかもしれないが、との逸話が表情があること

目指すべきトップの姿も薄らと頭活躍の様子を読み進めていくと、また、目指すべきナンバー2の

ないにしても参考になる逸話が見つかると思う。もし見つからコラムから目指す姿に近いものが十人 十色 で あろうが、本書の

の片隅に思い浮かべることが

られる。要な考え方は、次のようにまとめこの本からナンバー2として必

関係を築くこと。は、お互いにないものを補い合うは、お互いにないものを補い合うまず、トップとの関係において

激けること。 られている役割を、明確に意識しられている役割を、明確に意識し

新任で経験も実績もない私に徹すること。

ある。しては、やりがいのある目標でしては、やりがいのある目標でことではあるが、目指す目標ととっては実現することは難しい

したい。御一読くださることをお薦め御一読くださることをお薦めす る。も し、よ ろ し け れ ば、ことで、私は救われたような気がことで、私はない、目標ができた



#### **基満 貞徳** 天城町立北中学校

理解を深めている。 電組を通して日本各地についての「なぜ、この地域は~なのか「なが有名なのか」のような「問い」が有名なのか」のような「問い」がするながら、だ。タレントが町歩きをしながら、だ。タレントが町歩きをしながら、だ。タレントが町歩きをしながら、だ。タレントが町歩きをしながら、

を改めて感じている。

を改めて感じている。

を改めて感じている。

を改めて感じている。

を改めて感じている。

を改めて感じている。

を改めて感じている。

を改めて感じている。

を改めて感じている。

さて、日々の授業実践が我が校ののとうな受事というな受事というによって参観したくなる。 また、その「問い」を子どもたちの表情や姿勢を見る。にいい雰囲気だな」と感じる授業は「めあて」もよく考えられている。また、その「問い」について、「ああだ、こうだ」と考えている集団の姿がある。と考えている集団の姿がある。また、その「問い」について、「ああだ、こうだいい雰囲気だな」と考えている集団の姿がある。と考えている集団の姿がある。と考えている集団の姿が表した。

### 父の背中を追って

## 大山 浩治霧島市立高千穂小学校

大変驚いたことを覚えている。大変驚いたことを覚えているとに、きたからだ。奇遇にも父も私ももある。四十数年前、私の父もした。高千穂小学校へ教員で赴任してした。高千穂小学校へ教員で赴任して

表頭宅で飲み会があった。 をしたり遊んだりした記憶はをしたり遊んだりした記憶は をしたり遊んだりした記憶は をしたり遊んだりした記憶は をしたり遊んだりまり いたのでめいっぱい鍛えられた いたのでめいっぱい鍛えられた いたのでめいっぱい鍛えられた いたのでめいっぱい鍛えられた いたのでめいっぱい鍛えられた

今では聞き慣れない家族会と 今では聞き慣れない家族会と

いたのだと思う。

教頭を目指し、頑張っていきたい。ように、目配りと気配りのできる追い付かないと思うが、私も父のまだまだ父のしてきたことには



## 新任教頭雑談



### 阿久根市立脇本小学校 柳田 健

教頭としての私の新任地は脇本

たちは幼い頃から聞いて育って 音色と軽快なリズムを、子ども 三十四年目を迎える。鉦と太鼓の 活 郷土の伝統芸能「山田楽」の伝承 小学校である。教育活動として、 動が位置付けられ、今年で

偉人を多く輩出し、 育まれ、 を往復して競う。 泳ぐ遠泳大会。持久走大会は砂浜 脇本浜では海がめの観察や放流を も教育の一役を担っている。 山など校区にある豊かな自然環境 行事や子ども会活動も盛んで、 な土地柄である。季節折々の地域 地域は郷土愛に溢れ、 山する。子どもたちは地域に 域ぐるみで子どもを育んで 清掃活動を行う。脇本の海を また黒之瀬戸や脇本浜、笠 共にあることを実感 遠足で笠山を 教育にも熱心 寺島宗則ら

して育つ。

気さくに声をかけてくれる地域の 潮 人たち。 太鼓の音。 種子島を感じている。辺りに吹く 《土芸能「ヤートセー」の鉦や いだ小学生の頃の遠泳大会。 の香り、荒波を乗り越えて は、この脇本の地に、 私を「けん坊」と呼び、 故郷

れと励まされている。 を好きになり、元気を出して頑張 と心が休まった。新任地 「脇本」 行き、海を眺めて過ごした。自然 '任当初はよく近くの海岸に

うになった。周りに感謝し、 の中で、少しずつ授業や子どもの くれる。支えてもらっている日々 戸締りや片付けを手伝って たら言ってくださいね。」と声を たちを熱心に指導する先生方が、 学校では、百九十六人の子ども に教頭職に邁進したい。 ことなどについて相談を受けるよ かけてくれる。忙しくしていると、 「教頭先生、手伝えることがあっ 謙虚

## 初志を忘れずに

#### 鹿児島市立宮小学校 上原 孝夫

なっている。 ことが決まったとき先輩から 贈られた言葉であり、 「和顔愛語」、「一視同仁」、二つ 言葉は、 教頭として赴任する 座右の銘と

深めることから始まった。和やか 先ず、 覚えている。 のようにただその場にいたことを しながら自己紹介をし、お客さん 人に接するにはほど遠く、緊張 な笑顔と思いやりのある話し方で 焚き」など地域の方々と交流を 月、子どもたちと出会うよりも ちょうど一年前、平成二十九年 「消防団祝賀会」や「鬼火

位置し、全校児童七十人ほどの きた。同時に、「地域の中の学校」 をすることができるようになって の人の顔と名前を覚え、様々な話 中で、日を追うごとに、 な行事や学習を行っている。その 保護者との関わりは積極的で 「吉水棒踊り」「収穫祭」など様々 '規模校である。 学校と地域 本校は、薩摩吉田ICの側に 年間を通して「牧神様遠行. 私も多く

> きた。 あらためて実感するようになって 教頭の果たす役割の大きさを という意識の共有を図る上で、

すべての人に接していきたい。 明るく、親切に、誠意をもって、 ない。どんなに忙しくても、 接遇・応対を行わなければなら 保護者、 しての職務の中で、児童、職員、 ない実務がある。校長の補佐と 人とのつながりを大切にしていき 教頭は、 地域住民、外来者との 多種多様な目に見え 常に

よう、これからも初志を忘れず 自信をもって伝えることができる 学んだことを、後輩の先生方に ていただいたことや経験の中から 日々努力していきたい。 そしていつか、 先輩方から教え